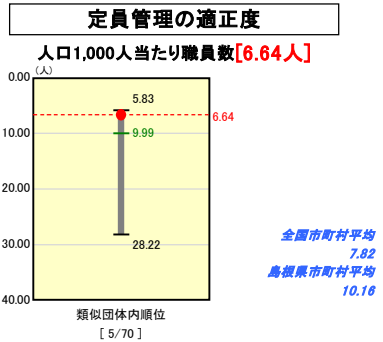
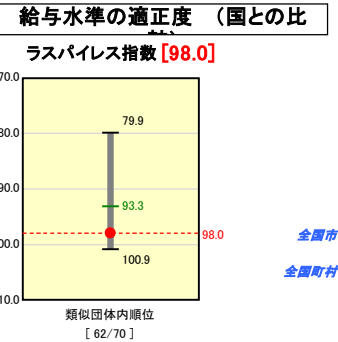
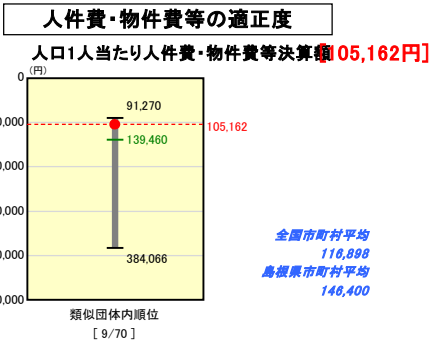
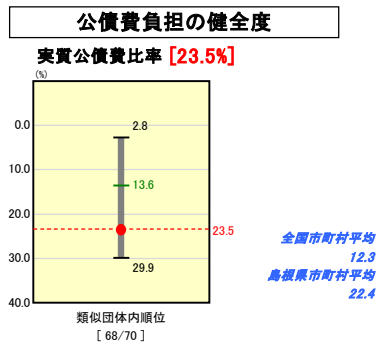
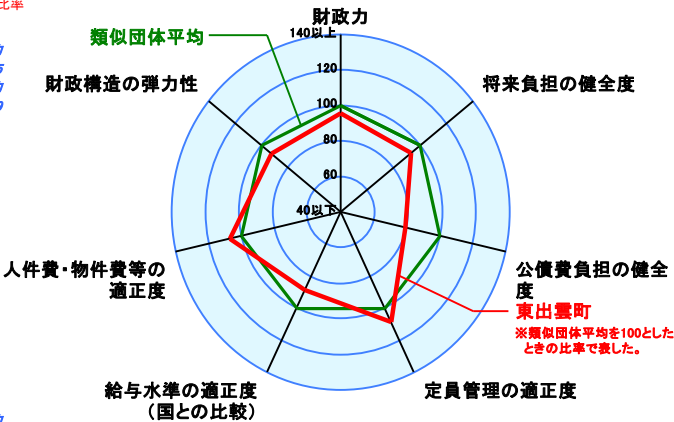
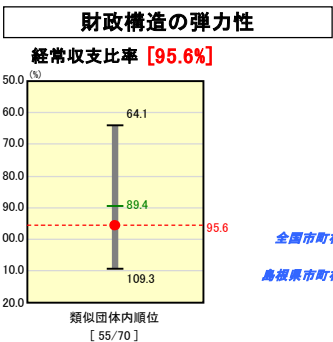
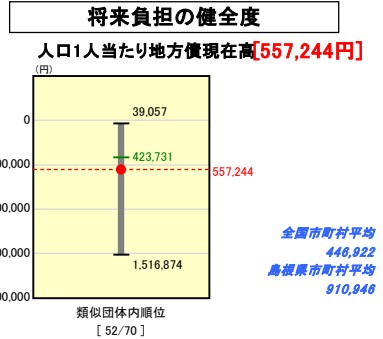
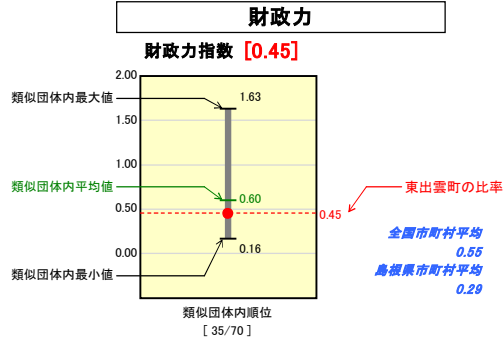


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

島根県 東出雲町

人口	14,457	人(H20.3.31現在)
面積	42.64	km ²
歳入総額	5,541,460	千円
歳出総額	5,485,674	千円
	55.436	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
 ※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
 ※ラスパイルズ指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年度地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

○財政力指数
 近年0.4強で推移している。普通交付税交付額が減少傾向にある中、町税等の自主財源確保による依存度の低減が財政運営上の課題である。

○経常収支比率
 道路整備を中心に実施した、大規模な普通建設事業(H6からH11:総事業費約118億円)に伴う公債費の償還額が年々増加し、近年は80%台後半から90%台半ばで推移している。特別職及び議員の報酬カットや職員給与の昇給延伸の実施及び、集中改革プランに基づく職員数の削減などに加え、平成19~21年度の間は繰上償還を行い、経常経費の圧縮を図る。

○人口1人当たり人件費・物件費等決算額
 上記の取組みにより経常経費の削減に努めているのに加え、近年人口が増加しているため適正度が向上している。

○人口1人当たり地方債現在高
 平成15年度以降、単年度の地方債発行額を償還元金額以内に抑制したことに加え、近年本町人口が増加しているため年々減少している。今後は繰上償還等の実施により更なる適正化に努める。

○実質公債費比率
 一般会計のみならず、下水道事業等の特別会計においても公債費が増加傾向にあり、今後も数値が悪化することが見込まれたため、料金改正の実施による特別会計の採算性の向上や、公債費の繰上償還などにより今後改善に向かう。

○ラスパイルズ指数
 類似団体平均等に比べ高い数値となっている。今後集中改革プランに基づき、計画的な職員の採用や適切な給与と制度を構築する予定である。

○人口1,000人当たり職員数
 これまでも、事務事業及び組織体制の簡素・合理化に取り組んできている。集中改革プランに基づき、5年間で6.8%の減員を目標としていたが、平成19年度中に目標を達成した。今後は更なる定員管理の適正化に努める。